

平成30年度第4回四條畷市立図書館協議会会議録

1 日時 平成31年2月21日（木曜日） 午前10時30分から午後12時00分

2 場所 四條畷市市民総合センター3階 会議室4

3 出席

(1) 図書館協議会委員

○出席委員は次のとおり

福井 多恵子会長 大庭 つばら委員 乾 昭彦委員 林 美香委員

小林 初根委員 平山 明子委員 北本 もと子委員 辻野 栄子委員

羽森 清司委員

※欠席：高垣 聡美副会長

※「四條畷市立図書館協議会運営規則 第6条」により、出席者が定数の過半数に達しているので協議会は成立

(2) 四條畷市教育委員会事務局の出席者は次のとおり

開教育次長兼教育部長 上井教育部次長兼学校教育課長

田中図書館長 福井分館長 中崎図書館職員

4 議題 次のとおり

(1) 第3次子ども読書活動推進計画（原案）の答申について

(2) 平成31年度主な図書館事業と予算（案）について

(3) その他について

5 本日の議事次第記録者 次のとおり

中崎図書館職員

6 開会

(1) 会長挨拶

皆様おはようございます。お忙しいなか、お集まりいただきましてありがとうございます。本年は第3次四條畷市子ども読書活動推進計画が策定されるということで、平素は年2回であるところ4回もお集まりいただきました。皆様方の熱心なご審議によりまして、事務局から諮問いただいた案件につきましては前回の協議会で皆様方の意見を集約させていただきまして、それを本日、皆様のご承認を得て答申をお出ししたいということでお集まりいただいています。

す。よろしくお願ひいたします。

(2) 会議録署名委員の指名

会長の指名により本日の署名者は北本委員に決定

(3) 配布資料の確認

(資料1) 開催案内(通知文書)

(資料2) 第3次四條畷市子ども読書活動推進計画(原案)についての答申

(資料3) 平成30年度第3回四條畷市立図書館協議会における第3次四條畷市
子ども読書活動推進計画(原案)についての審議まとめ

(資料4) 平成31年度主な図書館事業と予算(案)について

(当日資料1) 計画(原案)の第4章を抜粋したもの(ページ16-26)

7 議事の要旨

会 長 議題1の第3次子ども読書活動推進計画(原案)の答申について事務局から説明をお願いします。

田中館長 先月1月29日開催の前の協議会において、第3次子ども読書活動推進計画(原案)について審議いただきました。審議は、前回は最終となり、今回は答申をいただく運びでございます。答申をまとめるにあたっては、前回の協議会のなかで、会長、副会長にお任せいただけるとのことでご同意いただきましたので、前回の審議内容をまとめましたものを、会長、副会長にご覧いただきまして、答申としてまとめさせていただきました。お配りしておりますのが、その答申の複写でございます。第3回四條畷市立図書館協議会における第3次四條畷市子ども読書活動推進計画(原案)についての審議をまとめたものに、前回の審議

それでは答申の内容説明をいたしますが、まず前回の内容を振り返りたいと思います。資料3をご覧ください。

では、会長お願ひいたします。

会 長 今、事務局から説明がありましたとおり、前回の審議をまとめたものを、先週わたくしと副会長で確認させていただきました。そして今事務局から説明のありましたように、答申という形で、計画に盛り込む意見ということで5点、

計画を進めるに付す意見ということで4点と9つの項目にあたって別紙にまとめていただきました。

この内容で答申としたいと思いますが、ご同意いただけますでしょうか。

(一同同意)

会 長 では、答申としてお渡しします。(答申読み上げ)

では、答申をどのように原案に反映していただくかについて、事務局から説明をお願いいたします。

田中館長 いただいた答申をどのように原案に反映していただくかについてご説明いたします。机上配布の当日資料1をご覧ください。

まず、設置が完了したコンピューターの活用について、16ページの中段「コンピュータ化については全校導入を達成しましたが」と達成したことのみに関及していたところを、網掛け部分のように「なお、コンピュータ化については全校導入を達成しましたことから、その活用を図りつつ」と文言を変えています。

次に、ボランティアの受け入れ育成の積極的な推進についてですが、20ページの下段「ボランティアとの連携、協力」の取り組み内容「ボランティアの受け入れを進める」とのみ記載しておりましたところを網掛け部分のように「ボランティアの受け入れとその育成を推進する」とさせていただいております。

次に、図書室における定期刊行物の購入検討についてですが、21ページの中段「蔵書の充実」の取り組み内容に網掛け部分「調べ学習等の多様な利用方法に対応できるように、幅広い蔵書の構築を図るとともに、雑誌等の定期刊行物の購入を検討する」と追記しております。それに伴い実施区分を「継続」から「拡充」に変更、担当・所管についても教育総務課のみだったところを小中学校も追記しております。

次に、図書室における新聞の活用についてですが、「各学校への新聞の配備に努める」のみだったところを「配備と利用促進に努める」と文言を追記しております。それに伴い実施区分を「継続」から「拡充」に変更、担当・所管についても教育総務課のみだったところを小中学校も追記しております。

次に、本と触れ合う場の提供について、22ページ中段網掛け部分のように、

実施区分を「継続」から「拡充」に変更、担当・所管に図書館を追記し、取り組み内容には「上記の施設にとどまらず、本の設置が可能な場所の確保と周知、啓発に努める」という文言を追記しております。

この後、本日答申をいただきましたことにより、「原案」を修正のうえ「案」とし、次回の教育委員会定例会にて上程し、そこで審議いただいたうえ正式に許諾を得るという運びになる予定でございます。

会 長 では、教育委員会への上程をお願いいたします。皆様本当にご苦労さまでございました。ありがとうございました。

それでは次に、議題2「平成31年度主な図書館事業と予算（案）について」事務局から説明をお願いいたします。

田中館長 事前に配布いたしました資料をご覧ください。予算の項目ごとの主な内容とその予算に係る主な事業をまとめたものでございます。

予算に関してはまだ内示の段階でございまして、3月議会におきまして正式に確定となりますのでここでは（案）としています。

まず、1 利用者サービス事務ですが、利用者への直接サービスに係る事務でございまして、貸出やレファレンスサービス等の窓口業務、またおはなし会等の行事開催など、31年度は特に、子ども読書活動推進計画に係る取り組みとしてテーマ展示やフロアワークの充実など、より充実した館内サービスや講座開催等による読書啓発を実施してまいります。来年度の予算としましては、348万8千円の内示となりまして、372万4千円の減額でございます。主な減額要因としましては、非正規職員が2人分削減されたものでございますが、うち1人は今年度当初から減となり、正規職員補充となっておりますので、実質の人員体制としましては、1人のみの減でございます。

次に、2 図書館資料関係事務ですが、資料の収集、保存、管理に係るものでございまして、引き続き購入を中心とした蔵書の充実を図るとともに、31年度は、子ども読書活動推進計画に係る取り組みとして中学生の読書離れ対策としてYA世代の蔵書充実に取り組んでまいります。来年度予算としましては、931万9千円の内示となりまして、56万8千円の減額となりました。うち45万円は田原図書館へ資料費を移動させたもの、そしてうち5万4千円は今年度臨時でバーコードラベルを作成したものでございますので、実質の減

額としましては、視聴覚資料のデータ作成の委託料の5万円減でございます。

次に、3 図書館協議会関係事務ですが、図書館協議会の開催に係る事務でございます。来年度の予算としましては、12万円の減額となっておりますが、今年度は子ども読書活動推進計画の審議がございましたので、年4回の開催でございましたが、通常は2回開催に戻るものでございます。

次に、4 障がい者サービス関係事務ですが、通常の活字では読書が困難な方向けのサービスでございまして、引き続き大活字本などの資料購入や関係ボランティア団体との連携による資料作成を行ってまいります。障がい者サービス関係事務は予算の増減はございませんでした。

次に、5 ブックスタート関係事務ですが、保健センターとの連携による4か月児健診時に絵本をプレゼントする取組みでございます。31年度も引き続き、子ども読書活動推進計画の重要な施策と位置付けて取り組んでまいります。来年度の予算としましては、1万4千円の減ですが、想定出生数が20人減少となることによる分でございます。

次に、6 図書館管理運営事務ですが、備品や設備等の維持管理を主とする事務でございますが、31年度は、現在使用中の図書館管理用コンピュータシステムが前回入替えから5年が経過することから、ハード及びソフトの全面入替えを実施いたします。来年度の予算が、169万1千円と大きく増額となっておりますが、システムの入替えによるものでございます。

次に、7 田原図書館管理運営事務ですが、田原分館の開館事業に係るものでございます。31年度は、子ども読書活動推進計画に係る取組みとして、より充実した館内サービスや講座開催等による読書啓発を実施してまいります。来年度予算としましては、860万1千円と25万9千円の増額でございます。増額要因としては、CD等視聴覚資料の購入費と人形劇開催費が計15万円、その他消耗品が若干の減となりましたが、本館から資料費を45万円異動させたことにより、差引きで増となったものです。

次に、9 ビブリオバトル大会事務ですが、ビブリオバトルの市内中学生大会の開催に係る事務でございまして、昨年度初実施いたしました小学生の部を引き続き併せて行ってまいります。来年度予算としましては、9千円の減でございますが、ライオンズクラブの助成があることにより、9千円で賄えること

になったものでございます。

次に、10 学校図書館支援事務ですが、学校図書館支援員の派遣による学校図書館の活性化に係る事務でございます。31年度は、第3次子ども読書活動推進計画の重点施策として取り組むとともに、1校拡充いたします。来年度予算として、62万9千円の増額となっておりますが、増額の要因は1校拡充でございます。

最後に予算項目外の事業としましては、毎年恒例の子ども読書週間スタンプラリーを、31年度も実施する予定でございます。

以上、事業計画と予算でございます。

会 長 ただいま事務局から議題2について説明がありましたが、何か質問等ございますか。

羽森校長 学校図書館の人件費が1校分増えているとのことですが、来年度の全体的な支援員の配置はどのようにお考えでしょうか。

田中館長 現在おこなっている小学校6校、中学校1校の支援は継続し、1校分の増員ということで来年度は計8校の支援をおこなう予定です。新しく支援をおこなう1校については、やはり読書活動推進においては低年齢の頃から読書にふれることが重要であると図書館としては考えておりますので、まず小学校の全校支援完了をめざしたいと考えております。残り1小学校の支援を新たに行っていきたいと考えております。

〇〇委員 2. 図書館資料関係事務の予算内容で「書籍・雑誌」「図書購入」と予算が分かれています。が、「書籍」と「図書」の違いとは何でしょうか。

田中館長 予算の項目として説明させていただきますと、「書籍・雑誌」は旅行ガイドブックなど数年で廃棄する予定になっている消耗品扱いのものについての予算、「図書購入」は本そのものが使用に耐えられないほど劣化することがない限り永年保存する備品扱いのものについての予算でございます。そういった扱いの違いから予算を分けて表記しておりますが、一般的に「書籍」「図書」という言葉の厳密な意味があると思いますので、お調べして改めてご説明させていただきます。

〇〇委員 本館から田原図書館に移動になる資料費は45万円と額も大きいですが、どのような資料の予算なのでしょうか。

田中館長　こちらは備品扱いの「図書購入」の予算です。かねてから田原図書館の利用者より、田原図書館の所蔵冊数が本館に比べて少ないという声をよくいただいておりますので、第3次子ども読書活動推進計画の策定にあたり、特に児童書の充実をめざしていきたいと考えております。

〇〇委員　来年度もビブリオバトル中学生大会を開催する見込みということですが、昨年10月20日に開催されました大会について、反省点や次回以降変更すべきと考えた点はありましたか。

田中館長　反省点といたしましては、小学生の部において、グループに分かれての発表としたのですが、会場が少し狭く、発表者同士の席が近いことから声も混じり合って聞こえづらくなってしまいました。次回はもう少し広めの会場を設定しなるべく声が混じり合わないような形にしたいと考えております。また、小学生の部は初めての開催で、現場の教員の方からどう指導したらいいか戸惑った部分があるというような話もお聞きしましたので、そのあたりも事前に図書の時間等活用して支援員からビブリオバトルについて周知できればと考えております。

辻野委員　障がい者サービス関係事務にある「会費」という予算は何の会費ですか。

田中館長　近畿視覚障がい者情報サービス研究協議会に入会しておりますのでその会費でございます。視覚障がい者向けの資料やそれらの資料の所在に関する情報をいただけるということで入会しております。

辻野委員　デージー図書等をネット上に載せることができるようなサービスではないのですね。

田中館長　近畿視覚障がい者情報サービス研究協議会がネット上で検索できるようなものを出しておられるので、そちらでデージー図書等の所在を調べることはできます。

辻野委員　作成した録音資料をネット上にアップロードすると全国から四條畷市民以外の方も視聴できるというようなサービス（サピエ）がありますが、それとはまた別のものでしょうか。

田中館長　サピエとは別の団体です。各図書館で所蔵している資料の情報を集めてあるのでお探しのものを案内できるというものです。

林 委員　学校図書館支援事務の予算は職員報酬以外ではどのようなことに使われてい

るのでしょうか。

田中館長 「その他消耗品」では図書の装備や館内の飾り付けに必要な紙類等の消耗品を購入しています。「OA消耗品」は図書の書誌データをネット上からダウンロードできるサービスの年会費や館内の飾り付け等に使うカラープリンターのインクジェット購入費として使っています。「パソコン入替」は現在使用している windows7 が平成 31 年度中にマイクロソフト社のサポート切れになるため最新の OS にバージョンアップするということでパソコンの入替が必要になりますのでその費用です。「備品台車」は新しく支援を始める 1 校で荷物の運搬に使用するためのものです。

〇〇委員 ビブリオバトル中学生大会についてですが、各校代表者が集まって、その場一回限りの取組みなのか、各校でビブリオバトルをしたうえでその代表者が出場しているのか、どちらなのでしょう。どちらだからどうということではありませんが、読書活動の推進のためにビブリオバトルが開催されている以上は、各校で取り組みましょうということだと思います。本を選んで読んで発表するというのは、前身の小中学生の主張コンクールと比べても、なかなか時間のかかる大変なことなのではないでしょうか。特に小学生については昨年初めての開催だったため戸惑いがあった、今後は事前に支援員さんから説明を受けてやっていくということでしたが、やはりまだなかなか難しい段階なのかなと思います。やるからには、現場の先生方にも意義を理解していただいたうえで、意識を持ってやりましょうということ伝えていただきたいと思います。

田中館長 ご指摘のとおりビブリオバトル自体まだ一般的に周知されていないため現場としての取組みも難しい部分があるかと思います。中学生大会を始める際は、各中学校回らせていただいて、ビブリオバトルについて説明させていただきました。小学校につきましても要望があれば説明に伺いたいと思います。啓発、推進の観点から継続的にやっていくのがベストだと考えておりますので、徐々にビブリオバトル普及の醸成を待ちまして、地道に取り組んでまいりまして、学校支援員も再来年度には全校配置が完了いたしますので、学校現場とも調整のもと図書の時間等活用して普及に取り組んでいきたいと思っております。小学生の部の周知、普及が行き渡りましたら、その後は中学生の指導も楽になっていくかと思っておりますので、小学生の部も含めて普及に努めてまいります。

〇〇委員 ビブリオバトル中学生大会の優勝賞品はどのようなものを用意されたのですか。

田中館長 「第〇回ビブリオバトル中学生大会チャンプ本」として、紹介した本の書名、優勝者の学校名、学年、クラス、氏名の刻印されたプレート付きのガラス盾を用意しました。

〇〇委員 とても喜ばれたことでしょうか。

田中館長 乾委員、いかがでしたでしょうか。

乾 委員 中学生の部では四條畷中学が2名受賞いたしまして、大変喜んでおりました。

〇〇委員 子ども読書週間スタンプラリーは、毎年工夫されたプレゼントが用意されていますが予算はついていないのですか。どのように用意されているのですか。

田中館長 子ども読書週間スタンプラリー自体には予算はついておりませんので、消耗品等の予算からやりくりしているほか、スタンプラリーの中で一番の人気行事であるおはなしコンサートは、公民館との連携事業となっており、公民館の予算で実施しています。

会 長 厳しい財政事情の中で、図書館さんの努力もあって、減額とはいえどもそこそここのところを確保していただいているのかなと思います。

正規職員が1名増えるというのは非常に喜ばしいことですが、実際今何名おられて、実質本当にその人数で十分なのでしょうか。それとも一人ひとりの負担が大きいのでしょうか。

田中館長 現在、正規職員の人数は本館5人、田原1人の合計6人です。正規職員が一番多い時では現業職員1名も含めて10名おりましたので、全体で4名の減になります。10名いた頃を経験している者としては非常に苦しい状態ではありますが、臨時・非常勤職員を含めた全体の人数としては減っておらず、来年度初めて臨時職員が1名減となることが決まりましたので、平成31年度は非常に厳しい状態になると想定しています。

会 長 臨時・非常勤職員の方の勤務時間は正規職員と同じですか。

田中館長 臨時職員はフルタイムで週5日勤務という正規職員と同じ勤務時間数です。非常勤職員は、日数が一番多くて週4日なので、正規職員より1日少ない勤務です。平成30年度までは、正規職員の減員を非常勤職員で補う形で、全体の人数は減っていませんでしたが、そのうち4名の非常勤職員は正規職員より週

1日分勤務日数が少ないという体制でした。その分は色々と工夫して対応しているというのが現状です。

会 長 他にございませんか。

では、次の議題3その他について、事務局から何かございますか。

田中館長 はい。今年度は、今回が最後の開催となります。第3次子ども読書活動推進計画の審議がございまして、例年より多い4回の開催となり、ご足労おかけしましたが、1年間ありがとうございました。

来年度は例年通り年2回の開催になります。来年度の第1回目の開催は夏ごろを予定しております。よろしく願いいたします。

会 長 他にございませんか。

ないようですので、それでは、これもちまして、平成30年度第4回図書館協議会を閉会いたします。

以 上

上記議事録の顛末を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。

平成31年2月21日

四條畷市立図書館協議会会長

同 委 員